

学校の部 優秀賞（議長賞） 和歌山県立和歌山高等学校



花づくりや花壇の管理は誰がどのように行っていますか

日々の水やりや管理は学校校務員が行っていますが、毎月1回、生徒と育友会、教職員が協力して行っている「土いじりの会」での雑草抜きや、5月の球根抜き、10月の球根えの際は地域の方々や近隣保育園の園児たちがボランティアで協力してくださり、学校、地域が一緒になって花を咲かせています。また、花壇のデザインは毎年生徒たちが考えており、今年は干支の「へび」のデザインとしました。この活動は平成8年から始め、今年で30年目を迎えました。

ご近所や関係者の反応はどうか、またどのような交流が広がっていますか

毎年春は和歌山高校でチューリップを見るのが楽しみだと近隣の方々から言っていていただいています。コロナ禍を終え、昨年から再開したチューリップフェスタは、毎年第1土曜日にイベントを実施し、近隣住民の方々だけでなく、遠方からも観覧にお越しくくださるほか、卒業生や以前本校に勤務していた教職員なども集まり、旧交を温めたり、様々な交流が生まれたり、チューリップによつて人の輪も生まれています。また、球根抜きイベントでは、開花後の球根を自由に持ち帰っていただき、各家庭で花を咲かせていただく「チューリップリレー」も行っています。

